

「南部炭染」は、2006年に盛岡ブランドに認証された新ブランド。岩手産木炭を原料にした炭液を使った染物である。布を木炭で染めるとは、何と斬新な発想だろう。

この製法を編み出したのは、東中野で広告の企画・デザインなどを行う「有限会社クワン」の代表、高橋啓子さんだ。炭染のアイデアは、クライアントとの会話の中で閃いたのだという。

「岩手には、ホウレン草やレタス、ワカメなど、実は日本一が沢山ある。木炭もその中のひとつ。現在は炭を利用する機会が少なくなっているが、それならば今の時代に合った使い方を探せばいい」。高橋さんは、これまで使い道のなかった、木炭を作るときに出る「粉炭」を染料にすることに挑戦。スタッフたちと力を合わせ、試行錯誤の末に商品開発にたどり着いた。

アイテムは、ブラウス、Tシャツ、靴下などの衣類から、帽子、ショール、バックと幅広い。そのどれもに共通しているのが、色合いの美しさだ。平面的なグレー色ではなく、光の反射具合によってキラキラと輝いたり、青や紫色にも変化する。さらに、シンプルでいて上品さも併せ持つデザインが、色合いの



もり
おか
ブランド
物語



南部
炭染

美しさを引き立てている。1枚1枚手染めというのも、愛情がこもっていて大切に使いたくなる。

南部炭染のよさは、それだけにとどまらない。脱臭効果もあるといわれている。早速、靴下を購入し実際に試してみた。革靴を履いて一日中歩き回り、家に帰って靴下を脱いで確認してみると、確かに匂わない！この効果を実感した方は私以外にも沢山おり、その方々のリクエストで、8月にはスポーツタイプのTシャツが発売される予定だ。

脱臭効果のほかにも、殺菌や保温、マイナスイオンを増大する効果もあるといわれている。木炭は、まさに未開の天然素材。生活の中に南部炭染を取り入れることで、木炭の素晴らしさをぜひ実感してほしい。

盛岡特産品ブランド認証委員会

〒020-0055 岩手県盛岡市繫字尾入野 64-102
代表電話 019-689-2201 ファックス 019-689-2212